

〔教育委員会 学校教育課 所管〕

10020101 小学校管理事務

決算書P. 375

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	140,341	139,079	△ 1,262	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	1,880	1,873	△ 7	日本スポーツ振興センター保護者負担金(小学校)
一般財源	138,461	137,206	△ 1,255	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

小学校において、全ての児童が安全で快適に学習できる教育環境の維持を図り、健やかな成長の一助とする。

【今年度の取組】

学校保健安全法に基づく学校医等を配置し、児童及び教職員の健康維持、健康回復に寄与した。また、基礎的な学校管理経費及び児童経費の支出、用務員や給食配膳員及び介護補助員を配置することで安定した学校経営が図れた。

年度当初に学校への予算説明を行い、消耗品等の購入に当たっては、真に必要なかどうかを改めて考え、経費削減の意識をもって執行するよう指導を行った。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
児童数	人	4,196	4,254	4,257	4,318
児童1人当たりの支出額	円	32,887	32,990	32,671	33,843

【成果の動向】

児童が安全で快適に学習できる教育環境の維持が図られた。

【今後の事業の方向性】

引き続き、児童の教育環境を維持するための予算を確保するとともに、学校を対象とした予算説明会を実施し、予算執行の際の留意事項の再確認や経費削減への理解を求める。

10020102 小学校施設維持管理事業

決算書P. 379

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	73,541	69,894	△ 3,647	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	55	55	0	小学校施設行政財産使用料
一般財源	73,486	69,839	△ 3,647	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

小学校施設及び設備を適切に維持管理することにより、児童及び教職員の安全を確保し、良好な教育環境を保持する。

【今年度の取組】

法定点検や学校からの報告を基に、学校運営に支障が出ないように必要な修繕、補修を行った。

また、各学校の配膳室にエアコンを設置し、食材の衛生管理及び給食配膳員の作業環境の向上を図った。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
施設不具合の修繕箇所数	箇所	71	98	129	70

【成果の動向】

点検や修繕等により、健全な学校運営が図られている。

【今後の事業の方向性】

法律で定められた点検や老朽化に伴う修繕等を行う。

10020103 小学校管理備品購入事業

決算書P. 381

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	9,368	10,748	1,380	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	9,368	10,748	1,380	教育文化振興基金繰入金(ふるさと納税)
一般財源				

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

小学校の各種備品を整備し、小学校の教育環境の整備、充実を図る。

【今年度の取組】

小学校から購入を希望している備品を挙げてもらい、優先順位の高いものから購入することで、必要最小限の備品購入に努めた。

<購入備品>

児童用机・椅子、運動用具(卓球台、握力計等)、保健用具(視力計、体温計等)、ファイリングキャビネット、給食配膳ワゴン等

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
小学校運営備品購入額	千円	10,450	9,368	10,748	10,000

【成果の動向】

備品購入により教育環境の整備、充実が図られた。

【今後の事業の方向性】

学校で必要な備品を計画的に購入していく。

10020201 小学校教育振興事業

決算書P. 383

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	15,590	15,955	365	
国庫支出金				
県支出金	766		△ 766	
地方債				
その他				
一般財源	14,824	15,955	1,131	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

児童の確かな学力を育成するとともに、豊かな心や健康と体力を育む教育を推進する。

【今年度の取組】

学習に必要な消耗品や学習環境を整備した。

- ・学校外プール授業に要する経費（大野小学校・守谷小学校・黒内小学校・御所ヶ丘小学校・郷州小学校・松前台小学校）
- ・教師用教科書及び指導書の購入
- ・小学校スポーツテスト採点に要する経費

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
児童数	人	4,196	4,254	4,257	4,318
児童1人当たりの支出額	円	11,756	3,665	3,748	3,779

【成果の動向】

学習に必要な消耗品や環境整備をすることで、児童の学力、体力の定着につなげることができた。

【今後の事業の方向性】

令和2年度から英語検定の検定料補助金事業を開始するため、事業は拡大する。学校プールについては、施設の老朽化が進み、民間施設の利用を進めているが、受け入れ先の確保が困難になってきていることから、プール授業の縮小や廃止も含め、今後のプール授業の在り方を検討していく。

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	9,775	17,476	7,701	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	9,775	17,476	7,701	教育文化振興基金繰入金(ふるさと納税)
一般財源				

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

小学校で必要な教育教材を整備することにより、児童への教育効果を高める。

【今年度の取組】

各学校で必要な教科用教材を挙げてもらい、優先順位の高いものから購入した。また、今年度からプログラミング教育が開始されたため、プログラミング教材を購入した。さらに、平成30年度からの継続事業として、小学3年生に国語辞典、小学5年生に和英辞典を購入した。

学校図書については、学校図書標準が達成されていない学校に重点的に予算配分し、図書充足率の均衡とともに、全体の充足率の維持を図った。

<各学校における令和元年度の図書の購入冊数及び充足率>

大井沢小学校	204冊	106.9%	御所ヶ丘小学校	286冊	98.9%
大野小学校	267冊	133.0%	郷州小学校	231冊	105.1%
高野小学校	251冊	133.6%	松前台小学校	270冊	100.1%
守谷小学校	882冊	100.8%	松ヶ丘小学校	278冊	98.8%
黒内小学校	714冊	85.8%			

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
図書購入数	冊	2,324	3,002	3,383	3,350
小学校図書充足率	%	106.0	106.0	104.7	110.0

【成果の動向】

学校図書標準が達成されていない学校の充足率を向上させ、そのほかの学校の充足率を維持した。

【今後の事業の方向性】

引き続き、必要な教材を購入することで、児童の学習環境の維持・向上を図る。また、図書充足率の高い学校から低い学校へ予算を移動することで、予算額は維持しつつ、図書の充足率の向上に努める。



大井沢小学校図書室

10020203 小学校就学援助事業

決算書P. 385

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	14,732	15,429	697	
国庫支出金	1,097	958	△ 139	要保護及び特別支援教育就学奨励費補助金
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	13,635	14,471	836	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

1 要・準要保護児童就学援助費

経済的な理由で就学困難と認められる児童の保護者に対して、就学のために必要な費用の一部を援助することで、義務教育の円滑な実施を図る。

2 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級に就学する児童の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、世帯の収入等に応じ、就学に必要な費用の一部を補助する。

【今年度の取組】

令和元年度から援助費目に卒業アルバム代を追加するとともに、経済的負担のかかる新入学前後の援助をすることができた。学校と連携を図りながら、援助を必要とする児童の保護者へ支援が届くよう努めた。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
就学援助費を支給した児童数	人	178	195	192	190
特別支援教育就学奨励費を支給した児童数	人	65	68	60	70

【成果の動向】

経済的理由で就学が困難な児童の保護者に対し、教育費の支援を行うことができた。

【今後の事業の方向性】

今後も国や他市町村の動向を見ながら、必要に応じて援助費目等の見直しを行うなど実情に即した援助を行うよう努め、適切な援助により就学を支援していく。

【財源内訳】

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	140,349	133,737	△ 6,612	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	25,284		△ 25,284	
一般財源	115,065	133,737	18,672	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

高度情報化社会の進展に対応した学習環境を整備し、児童の学習意欲や思考力、表現力の向上を図る。また、パソコン機器等に慣れ親しむことを基本とし、技能を身に付けさせる。

【今年度の取組】

ICT教育環境利用のために必要となる機器、ソフトウェアの維持管理を行った。また、校務支援システムの稼働を開始し、GIGAスクール構想の実現に向けた先進地視察などを行った。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
児童用コンピュータ整備数(児童数/台数)	人	9.6	3.1	3.1	1.0

【成果の動向】

- ・ICT機器を活用した分かりやすい授業づくり
- ・校務支援システム稼働による教職員の負担軽減

【今後の事業の方向性】

一人1台の端末及び高速大容量通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちに対応する学びの場を持続的に提供する。



タブレットを活用した授業

【財源内訳】

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	31,128	256,499	225,371	
国庫支出金				
県支出金				
地方債		190,000	190,000	御所ヶ丘小学校校舎改修事業債
その他				
一般財源	31,128	66,499	35,371	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

建築後30年以上経過した校舎の長寿命化と教育環境の向上を図る。

【今年度の取組】

平成30年度に実施した設計に基づき工事に着手したが、騒音等による授業への影響を回避するため工期を延長した。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
進捗率	%	-	5	35	-

【成果の動向】

校舎の長寿命化や機能向上を図り、安全安心な教育環境の整備を進める。

【今後の事業の方向性】

令和2年12月の工事完了を目指す。

10020303 大野小学校屋内運動場改修事業

決算書P. 387

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	10,368	209,055	198,687	
国庫支出金		16,858	16,858	学校施設環境改善交付金
県支出金				
地方債		142,900	142,900	大野小学校屋内運動場改修事業債
その他				
一般財源	10,368	49,297	38,929	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

建築後30年以上経過した体育館の長寿命化と教育環境の向上を図る。

【今年度の取組】

平成30年度に実施した設計に基づき、改修工事を完了することができた。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
進捗率	%	-	5	100	-

【成果の動向】

工事の完了により、安全安心な教育環境を確保することができた。また、避難所としての機能も向上した。

【今後の事業の方向性】

令和2年2月に工事は完了した。



改修後体育館外観



改修後体育館内部

【財源内訳】

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	53,079	49,649	△ 3,430	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	821	817	△ 4	日本スポーツ振興センター保護者負担金(中学校)
一般財源	52,258	48,832	△ 3,426	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

中学校において、全ての生徒が安全で快適に学習できる教育環境の維持と健やかに成長することを図る。

【今年度の取組】

学校保健安全法に基づく学校医等を配置し、生徒及び教職員の健康維持、健康回復に寄与した。また、基礎的な学校管理経費及び生徒経費の支出、用務員や給食配膳員及び介護補助員を配置することで安定した学校経営が図られた。

年度当初に学校への予算説明を行い、消耗品等の購入に当たっては、真に必要なかどうかを改めて考え、経費削減の意識をもって執行するよう指導を行った。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
生徒数	人	1,768	1,889	1,869	1,893
生徒1人当たりの支出額	円	32,005	28,099	26,564	34,268

【成果の動向】

生徒が安全で快適に学習できる教育環境の維持が図られた。

【今後の事業の方向性】

引き続き、生徒の教育環境を維持するための予算を確保するとともに、学校を対象とした予算説明会を実施し、予算執行の際の留意事項の再確認や経費削減への理解を求める。

【財源内訳】

(単位:千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	49,187	42,780	△ 6,407	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	26	26	0	中学校施設行政財産使用料
一般財源	49,161	42,754	△ 6,407	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

中学校施設及び設備を適切に維持管理することにより、生徒及び教職員の安全を確保し、良好な教育環境を保持する。

【今年度の取組】

法定点検や学校からの報告を基に、学校運営に支障が出ないように必要な修繕、補修を行った。

また、各学校の配膳室にエアコンを設置し、食材の衛生管理及び給食配膳員の作業環境の向上を図った。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
施設不具合の修繕箇所数	箇所	42	63	67	40

【成果の動向】

点検や修繕等により，健全な学校運営が図られている。

【今後の事業の方向性】

法律で定められた点検や老朽化に伴う修繕等を行う。

10030104 中学校管理備品購入事業

決算書P. 395

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	4,010	6,101	2,091	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	4,010	6,101	2,091	教育文化振興基金繰入金(ふるさと納税)
一般財源				

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

各種備品を整備し，中学校の教育環境の整備，充実を図る。

【今年度の取組】

中学校から購入を希望している備品を挙げてもらい，優先順位の高いものから購入をすることで，必要最小限の備品の購入に努めた。

<購入備品>

生徒用机・椅子，教室用備品(教卓，給食配膳台等)，運動用具(ハンドボールゴール，バドミントンネット等)，保健用具(体重計，車いす等)，ファイリングキャビネット等

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
中学校運営備品購入額	千円	6,365	4,010	6,101	6,000

【成果の動向】

備品購入により，教育環境の整備，充実が図られた。

【今後の事業の方向性】

学校で必要な備品を計画的に購入していく。

10030201 中学校教育振興事業

決算書P. 397

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	17,407	18,208	801	
国庫支出金				
県支出金		1,284	1,284	茨城県エネルギー教育支援事業補助金
地方債				
その他				
一般財源	17,407	16,924	△ 483	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

生徒の確かな学力を育成するとともに、豊かな心や健康と体力を育む教育を推進する。

【今年度の取組】

学習に必要な消耗品や学習環境を整備した。

- ・部活動指導員に要する経費
- ・教師用教科書及び指導書の購入
- ・中学校スポーツテスト採点に要する経費
- ・文化部活動（吹奏楽部、美術部）のコンクール参加に要する諸経費
- ・平和教育（修学旅行で広島訪問）に係る交通費の一部負担
- ・原子力・エネルギー教育支援事業を活用した理科実験器具の整備（御所ヶ丘中学校）

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
生徒数	人	1,768	1,889	1,869	1,893
生徒1人当たりの支出額	円	4,680	9,215	9,742	7,653

【成果の動向】

授業用教材の整備や部活動指導員を4名増員したことで、生徒の教育活動がより充実した。

<部活動指導員配置状況>

- 守谷中学校 女子バスケットボール部、サッカー部、野球部、吹奏楽部 計4名
- 愛宕中学校 ソフトテニス部、卓球部、バドミントン部、野球部、柔道部、ハンドボール部 計6名
- 御所ヶ丘中学校 女子バスケットボール部、卓球部 計2名
- けやき台中学校 女子ソフトテニス部、男子バスケットボール部 計2名

【今後の事業の方向性】

令和2年度から英語検定の検定料補助事業を開始するため、事業は拡大する。



修学旅行(広島)

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	6,812	8,185	1,373	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	5,884	8,185	2,301	教育文化振興基金繰入金(ふるさと納税)
一般財源	928		△ 928	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

中学校で必要な教育教材を整備することにより、生徒への教育効果を高める。

【今年度の取組】

各学校で必要な教科用教材を挙げてもらい、優先順位の高いものから購入した。また、今年度からプログラミング教育が開始されたため、プログラミング教材を購入した。

学校図書については、学校図書標準が達成されているので充足率の維持を図った。

<各学校における令和元年度の図書の購入冊数及び充足率>

守谷中学校 266冊 116.2% 御所ヶ丘中学校 270冊 101.5%
 愛宕中学校 323冊 116.6% けやき台中学校 327冊 109.7%

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
図書購入数	冊	1,168	874	1,186	800
中学校図書充足率	%	111.0	109.0	120.4	110.0

【成果の動向】

学校図書標準を満たしており、これを維持しながら、生徒に利用される図書整備を継続していく。

【今後の事業の方向性】

引き続き、必要な教材を購入することで、生徒の学習環境の維持・向上を図る。また、図書充足率を維持するために必要な予算を継続して確保する。



守谷中学校図書室

10030203 中学校就学援助事業

決算書P. 399

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	13,382	13,468	86	
国庫支出金	637	757	120	要保護及び特別支援教育就学奨励費補助金
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	12,745	12,711	△ 34	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

1 要・準要保護生徒就学援助費

経済的な理由で就学困難と認められる生徒の保護者に対して、就学のために必要な費用の一部を援助することで、義務教育の円滑な実施を図る。

2 特別支援教育就学奨励費

特別支援学級に就学する生徒の保護者に対し、経済的負担を軽減するため、世帯の収入等に応じ、就学に必要な費用の一部を補助する。

【今年度の取組】

令和元年度から援助費目に卒業アルバム代を追加するとともに、学校と連携を図りながら、援助を必要とする生徒の保護者に支援が届くよう努めた。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
就学援助費を支給した生徒数	人	136	109	95	110
特別支援教育就学奨励費を支給した生徒数	人	12	24	26	30

【成果の動向】

経済的理由で就学が困難な生徒の保護者に対し、教育費の支援を行うことができた。

【今後の事業の方向性】

今後も国や他市町村の動向を見ながら、必要に応じて援助費目等の見直しを行うなど実情に即した援助を行うよう努め、適切な援助により就学を支援していく。

10030204 中学校ICT環境整備事業

決算書P. 401

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	65,355	62,364	△ 2,991	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	10,653		△ 10,653	
一般財源	54,702	62,364	7,662	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

高度情報化社会の進展に対応した学習環境を整備し、生徒の学習意欲や思考力、表現力の向上を図る。社会にあふれている情報を主体的に選択し、活用するための能力を育成する。

【今年度の取組】

ICT教育環境利用のために必要となる機器、ソフトウェアの維持管理を行った。また、校務支援システムの稼働を開始し、GIGAスクール構想実現に向けた先進地視察などを行った。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
生徒用コンピュータ整備数(生徒数/台数)	人	6.1	3.0	3.0	1.0

【成果の動向】

- ・ICT機器を活用したわかりやすい授業づくり
- ・校務支援システム稼働による教職員の負担軽減

【今後の事業の方向性】

一人1台の端末及び高速大容量通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちに対応する学びの場を持続的に提供する。



パソコン教室での授業

【財源内訳】

(単位：千円)

	平成30年度	令和元年度	差	主な名称
事業費	19,335	15,619	△ 3,716	
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	1,194	139	△ 1,055	茨城県中学校体育連盟補助金
一般財源	18,141	15,480	△ 2,661	

【目的及び期待する効果(誰(何)をどうしたいのか)】

中学校における体育・スポーツの健全なる普及及び発達に資するとともに、学校間のスポーツ交流を図る。

【今年度の取組】

守谷市総合体育大会・新人体育大会のほか、上位大会である県南大会、県大会及び関東大会の出場に係る諸経費を支出した。さらに、守谷市長杯バスケットボール大会の運営に係る諸経費を負担した。

【指標】

指標名	単位	平成26年度	平成30年度	令和元年度	令和3年度
		(基準値)	(実績)	(実績)	(目標値)
大会に参加した生徒数	人	682	1,272	1,372	1,230
負担金額	円	10,505	232,000	177,000	250,000

【成果の動向】

生徒の競技レベルの向上及び体力・運動能力の向上並びに生徒相互の交流が深められた。

【今後の事業の方向性】

引き続き、中学校における体育・スポーツ大会の支援を行う。



部活動の様子